

アトピー性皮膚炎 二段構えで治療

Q 二十三歳、女性。子供のころからアトピー性皮膚炎で、夏に汗をかくとひどくなり、じくじくしてかゆみが増します。現在ステロイド剤の軟膏を使っていますが、漢方にはよい治療法はありますか。

イプには消風散（しょうふうさん）がある。もしのどの渇きが強くて汗も多く、顔の赤みも強いようなら白虎加人参湯（びやっこかにんじんとう）もよい。かゆみが治まらないようなら黄連解毒湯を併用する。

A アトピー性皮膚炎に対する漢方治療の基本的指針は、まずかゆみを抑える治療を行う。基本処方では黄連解毒湯（おうれんげどくとう）である。症状が軽くなったら根本的な体質改善に進む。この二段構えを基本に、ストレス・食生活など生活全般の見直しを図る。

アトピー性皮膚炎は一般にかさかさ肌になる傾向があるが、質問者のように夏に悪化するタ

一方、体質改善には漢方的診察に基づいていくつかの処方を併用する。そのためには皮膚だけでなく胃腸など全身状態を把握し、生体の「弱い」部分の機能を改善する。小建中湯（しょうけんちゅうとう）、黄耆建中湯（おうぎけんちゅうとう）、柴胡桂枝湯（さいこけいしとう）など種々の漢方薬が考慮される。

ステロイド剤を使っている場合は急にやめると反動で症状が悪くなるので、漢方薬を併用しながら徐々に減らしていくのが最も安全である。